

TDグループ社内報

たまごとし



2024

01

vol. 104

index

特集
東洋電装 50周年
記念パーティー

50周年特別企画
東洋電装 50th HISTORY
長老座談会

ぶちTDニュース
登壇情報
メディア掲載
NewFace情報

Good&New
西村さん
藤村さん

CHALLENGE
坂本さん

50周年特別企画
驛場さんクイズ

おたよりについて

50th TOYO DENSO Anniversary

Designing the future with technology



TOYO DENSO



東洋電装株式会社 創業50周年記念パーティー

東洋電装は2023年12月20日で50周年。
記念すべき日を迎えるにあたり
12月16日(土)、クルーズ船 銀河にて
創業50周年記念パーティーを開催いたしました。



ご挨拶

社員、お客様、パートナーやさまざまなステイクホルダーの皆様のおかげで50年間、会社が存続できたことに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

企業の50周年生存率はわずか0.7%です。1000社のうち7社しか残れません。東洋電装が今こうして50周年を迎えることができたのは、お客様の困りごとを技術で解決するといった「価値提供」が我々のビジネスの軸になっているからだと考えます。

これまで東洋電装を存続させ、基礎を築いてくださった皆様に感謝するとともに、さらに発展することが大切だと思っています。

今まさにDXの時代がきて、我々が提供する「価値」が社会に求められています。我々がやってきたことが認められる、そんな時代になってきていると感じています。

この50年を節目に、これからさらに発展していけるような会社になれば、次世代の人たちがより楽しく仕事ができる会社になると思います。新たな次のステップに向けて皆様のご協力、ご支援を宜しく申し上げます。

代表取締役 桑原弘明



パーティには、東洋電装全グループから多くの社員が参加しました。
 桑健さんのドラの音でクルーズ開始！
 社長の挨拶にはじまり、木原さんの乾杯、
 「東洋電装のあゆみ」をまとめたムービー上映会では、
 東洋電装の原点を改めて感じることができました。



東洋電装の歴史をまとめた 50周年記念動画





運営スタッフの皆さん、
お疲れさまでした！



50周年記念品として配布された社員証ホルダー。皆さん、使ってくださいね。



HISTORY 50th Anniversary

1973.12

配電盤、自動制御盤の設計として、広島市西区己斐中にて創業。創業者「桑原敏彦」と設計社員2名でスタート。



1979.05

広島市安佐南区西原に、自社工場を新設。従業員数は6人に。



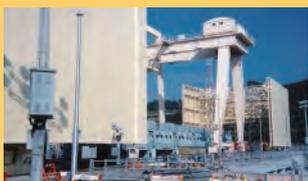
1993.12

20周年記念祝賀会を開催。



1996.01

中部電力榑浜岡原子力発電所に「インテークレークレーン防風フェンス自動追従装置」を納入。



2000

2000年頃、DACの開発。導入実績100台。



2003.12

西原の工場から現在の緑井に自社工場を新設、移転。従業員数は11人に。



2008

NEXCOに情報ターミナルを導入



2010

新型非常電話機 ERICE の開発を開始する。



▲2017年の ERICE 試作機品評会の様子

ERICE に対する愛情で ▶ ippaiの桑原社長と木原さん(写真は2018年)

2011.06

八木検査場を設立し生産数を拡大。

2012

この頃からCSモニタの開発開始。当時はボタン式だった。



▲霧島SAに設置したCSモニタ。

2012.12

社内IoT化に向けて、最初の取組みとしてサイボウズの使用を開始。

サイボウズ Office

2013.11

品川に現在の東京Officeの原点となる東日本営業所を開設。株式会社三葵の一角を間借りしてスタート。従業員数は38人に。

2014.06

創設者である「桑原敏彦」が会長へ就任し、副社長であった「桑原弘明」が社長へ就任。



2014.10

神戸市に「関西営業所」を開設。



2015.04

パロ電機工業株式会社をM&Aにて株式取得。東洋電装グループの一員に。



VALO ELECTRONICS



2018

この頃からタブレット式CSモニタの開発を始める。

写真は2020年頃の▶ CSモニタ。空港や高速道路のSA、PA、飲食店など多数の導入実績を誇る。



先人達が築き上げた実績と継承され続ける技術力で
「モノづくり」を軸に社会に愛される会社へと成長し続ける

2018.06

秋葉原に東日本営業所を移転。
それに伴い名称を『東日本営業所』から『東京 Office』、『関西営業所』を『神戸 Office』に変更。



衛星ブロードバンド関連のサービスを提供する株式会社 TD 衛星通信システムを設立。



2019.11

見守り介護ロボット『まもる〜の』の開発、販売を行う株式会社まもる〜のを設立。



株式会社 まもる〜の



東洋電装グループは5つの事業と3つの子会社になり、グループ全体の従業員数は90人に。

がんばるぞ

2021.12

東洋電装グループがホールディングス化に。それに伴い株式会社 TD Holdings を設立。



また、株式会社まもる〜のが株式会社 ZIPCARE へ社名変更。
従業員数は、グループ全体で112人に。(ついに100人突破)



2022.02

広島市安佐北区可部に、『DX 工場』として可部事業所を新設。
製造 DX のモデル工場として、全国の製造業の皆さんが工場見学に訪れるようになる。



諦めない!

まだまだ

モノづくりへの探求に終わりは
ないのだ!

2023.04

中小企業の DX 推進が進まないという社会問題を解決するべく、FRICS Fab チームを発足し、製造 DX の仕組み作りを開始。

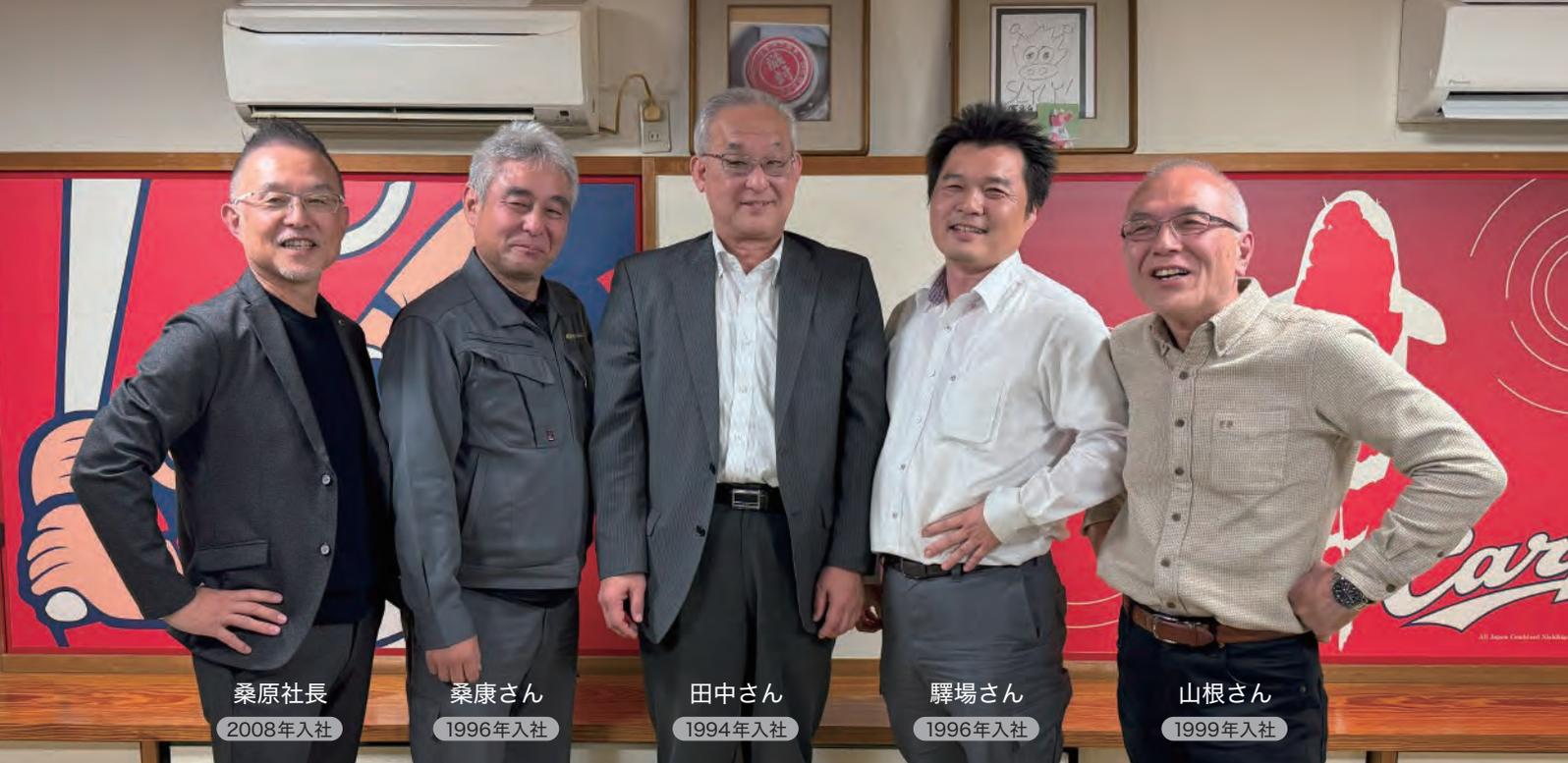


2023.12

12月20日、東洋電装は50周年を迎える。従業員数はグループ全体で133人となる。



1973年12月20日、桑原敏彦が社員2名で創業した東洋電装。当時は「町の小さな電装屋さん」だった。時には電装業とは全く関係のない仕事も手がけていたという。ただただ、お客さまの「こんなものが欲しい」という要望に「モノづくり」で応えてきた。それが東洋電装の原点なのだ。誰かが「どうにかできないか」と抱いた悩みを、「モノづくり」で「カタチ」にしてきた東洋電装の技術力。この技術力を、社員一丸となってこれからも引き継いでいきたい。



桑原社長

2008年入社

桑康さん

1996年入社

田中さん

1994年入社

驛場さん

1996年入社

山根さん

1999年入社

古参に聞く

思い出話は極上の「酒の肴」

さかな

東洋電装の50周年にあたり、桑原社長と東洋電装の長老たちによる座談会を開催いたしました。



桑原社長 50周年を迎えるんだけど、あまりにも昔の情報が分からなさ過ぎて…。笑
僕が入社したのが16年前なんですけど、それ以前のことをほとんど知らないんですよ。だから、この機会に長老に色々お話を聞きたいと思って、集まってもらいました。
今日は宜しくお願いします。乾杯！

全員 かんぱ〜い！！

桑原社長 皆さん入社はいつでした？

田中さん 1994年の4月位かな。35歳位で入社したんだよね。

驛場さん 僕は1995年？いや違う、1996年。19歳だったかな。

桑康さん 自信満々で間違っているし！笑

桑原社長 驛場さんは、第1号の新卒入社なんだよね。

田中さん 山根さんは驛場さんの後だったよね。元々、お客さんで、日本ファイリングにいたんだよ。前社長に連れて行ってもらった時に山根さんに初めて会ったのを覚えている。

山根さん だから入社前から前社長のことは知っていたんだよね。西原のドンキ裏に自宅兼自社工場があった時に、社長か桑康さんどちらか中学生の時にお会いしてますよ。



西原の自宅兼自社工場

桑康さん よく、あんなところに住んでいたなと思いますよ。苦笑

若かりし頃の写真を見て昔を懐かしむ

桑原社長 これは社員旅行？



桑康さん そうですね。東尋坊の時の写真ですね。

野北さん え〜！みんな若い。しかもめっちゃカッコいい！



平成11年の社員旅行(東尋坊で記念撮影)

全員 うわー！（全員頷く）

驛場さん もしかして、今はカッコよくないってこと？笑

桑原社長 驛場さんも、桑康さんも、ぱっと見、全然わかんないよ！



桑原前社長(左)と山根さん(右)

野北さん もしかして、こっちの写真は山根さんですか？

山根さん あ、これ私。

全員 髪がある！しかも黒髪！誰だか全然わかんない！

驛場さん なんか皆さん、もう「ウォーリーを探せ」みたいになってますよ。

全員 大爆笑



東洋電装の原点は前社長のモノづくり精神

安原さん) この写真は2000年頃ですよ。

田中さん) そうだね。まだ西原に事務所があった頃だね。

山根さん) 当時はさ、本当にいろんな仕事をしたよ。製品を梱包するダンボールに自分たちでシルク印刷もやったもんだよ。シルク印刷用の原盤も作ったりしてた。前社長はとにかくモノづくりにストイックな人でね、移動棚や書庫なども全部作ってた。



在りし日の桑原敏彦前社長

桑康さん) そうそう。予備品箱ってのがあって、プラスチックの箱なんだけど、当時、前社長は木で作ってたよ。買えばいいじゃんって思うんだけど、作っちゃうんだよね。

桑原社長) とにかく、前社長はなんでも自分で作るんだよ。「無いものは作れば良い」ってね。前社長のモノづくりに対する考えが、東洋電装の原点として今でも受け継がれているんだよ。

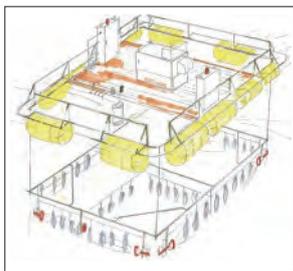
モノづくり精神が作り出した製品たち

山根さん) そういえば、かきいかだって、いつだったっけ？

桑原社長) 西原に事務所があった頃だよ。

藤村さん) かきいかだって何ですか？あの牡蠣ですか？

山根さん) そう、かきいかだってさ10~15メートルの深さまで牡蠣をぶらさげているんだよ。ところが牡蠣の成長に必要な植物プランクトンは海面近くに多く生息している。だから、この層の海水を吸い込んで深いところで出せば良いっていうんで、前社長の指示で驛場さんが設計して作ったんだよ。



当時作成したかきいかだ装置の図面

桑康さん) パイプにちっちゃい穴を作って、そこから空気を吸う。で、海水と一緒に流しこんだんだよ。そのときに電気いるでしょ。だからかきいかだの上に発電機を置いてコントロールさせてたんだ。

桑原社長) コントロールどうやったと思う？海の上なのに。

全員) ああ確かに・・・どうやったんだろう。。。

桑原社長) これはね無線でね制御しているんだよ。燃料がなくなったらわかんないでしょ。だから、当時、無線で監視装置作ったんだと前社長から聞いてたよ。

驛場さん) えっ、そうだったんですか？自分も知らなかった。

山根さん) ちなみに燃料は軽油。外側は渡り鳥のフンだらけ。笑でも、東洋電装が設計したやつはね、中側が全然錆びなくて綺麗だから、20年以上経過する今でも使われているものがあるんだよ。

恵美さん) へえ。昔はそんなものも作っていたんですね。

田中さん) あと、あれもあったね。原子力の浜岡原発。

正木さん) 浜岡原発って静岡のですか？

田中さん) そうそう。大きな原子力の炉を洗浄するのに、クレーンで吊るんだけど、海風が強くてうまく洗浄できない。だから、そのまわりに遮蔽板みたいなシェルターを作って、風除けにしようっていう話中部電力で出たらしいんだよ。こういうのって技術的にすごく難しいでしょ。そのシェルターの動きを制御する会社を探していたけど引き受ける会社がどこにもなくて、静岡から西へ西へと広島にまで話がきたんだよ。ミスや事故は一切許されない難易度の高い案件なんだけど、前社長は「できるんじゃないか」って言うんだよ。僕、思わず「いやいや原発ですよ」って…。

桑原社長) あれ、大きさどれくらいあったっけ？

田中さん) 何十メートル？大きかったよね？

驛場さん) 移動距離は十何メートルとかあったかな？

田中さん) 枠を作って、レールを敷いて、炉と一緒に動きながら洗浄していくんだよ。



浜岡原発の暴風シェルター

驛場さん) 入社間もない頃、納入後のメンテナンスで僕も現場に連れて行ってもらいました。これが2台あって、同時に動かなければいけない。これも距離が離れちゃいけないんで、二人で見ながらクレーンを挟んで両脇にフェンスがある感じ。だったかな。

田中さん) 俺、現場には行ってないんだけどね。笑

全員) これだけ語って、行っていないのかい！(総ツッコミ)

田中社長) いや、でも前社長が「どうやってやるか…センサーをいっぱいつけて…」って苦労していたところはずっと近くで見えてきたからね。暴走したら大変なことになる。原子力発電の事故になったら東洋電装なんか吹っ飛ばすくらい。それほど周りの社員は皆「これ、本当にやるんですか？」みたいな空気になっていたよ。でも、前社長はやり遂げたんだ。センサーをつけて制御して、段階的にシェルターが止まるようにした。大きいものだから、いきなり止めても惰性で動いたりするでしょ。だから段階的に動かすんだよ。



驛場さん) 「ほんまに止まるんか？大丈夫か？」って当時思ったけど、ちゃんと止まるんだよ。

田中さん) そう、そういう惰性で動くところも計算して完成させていたんだよ。あれをやったのけた時は、すごい感動したんだよ。僕は前社長のそばで、ただただ見てきただけなんだけどね。笑

全員) 見ていただけかい！(再び総ツッコミ)

山根さん) でも、これは自信につながりますよね。

桑原社長 浜岡原発って、いつだったかな？ 驛場さんが入社する前だから1994年頃だったっけ。

田中さん そんなときは、まだ俺しか入社してなかったかな。この仕事をやり遂げた後、前社長がタバコ吸いながら、心からほっとしたような表情をさせてね…。僕も嬉しくなって、心から「よかったですね！」っていう話をしたんだよ。

桑康さん こういった仕事をやってこれたのも、創業当時の実績があつたことだよな。

桑原社長 驛場さんが入社したとき集中空調とかやってた？

驛場さん 当時の空調は冷却水でしたよね。ぼく空調はやってなかったですけどね。

桑康さん え？何やってたん？



驛場さん 何やってたんだろ。笑 機械まわり？

田中さん 基町クレドのビル空調の半分位は東洋電装製だよ。俺が入社した時に、基町クレドやったって聞いたから30年以上前かな。営業だからさ、入社すぐに、あそこのビル・施設も東洋電装がやっているって聞いて、「うちみたいな小さな会社がこんな大きな仕事をやっているなんてすげえな」って思ったもんだよ。

「困ったら東洋電装」それが伝統になっている

安原さん 昔から制御盤をやってきて、東洋電装の名前が広まって、それで「東洋さん、これできない？」って、原発なんかの大きな案件の相談も入るようになったんですね。

田中さん 他にも、東洋電装には「これ本当にやるんですか？」っていう相談がたくさんあったよ。前社長は、これまでやったことがない仕事でも絶対に断らずにチャレンジするんだよ。いつも「モノづくり」にストイックだったね。

桑原社長 そうそう。だから「困ったら、とりあえず東洋電装に頼めばどうにかなる」という空気があるね。

安原さん 今でもそうですね。

山根さん 困っているお客様の最後の望みが「東洋電装」なんだよ。俺らはさ、これからもずっと「最後の望みの東洋電装」であり続けていきたいよね。

驛場さん 山根さん、今、良いこと言いましたよ。今日初？

全員 大爆笑

若手ヘンタイが活躍できる東洋電装を目指して——

桑原社長 僕ね、みんなにいつも言っているんだけど、ヘンタイが欲しいんだよ。最近も広工大の懇親会で「どんな人が欲しいですか」って、聞かれたから「うちはヘンタイが欲しいです」ってね。

ヘンタイ全員 大爆笑

驛場さん 「えっ？」て、ならなかったんですか？

桑原社長 理系の人にはなんとなく伝わるんだよ。うちだと、例えば木原さんとか、上土井さんとか、金重さん。あと驛場さんとか。こんだけヘンタイが集まった会社は他にないよ。笑

田中さん 突破口を切り開くのは、そういったヘンタイなんですよな。常識人じゃ、できないですもん。

桑康さん マツダに知り合いがいて聞いたことがあるんだけど、マツダも一部のヘンタイが会社を支えているんだって。

全員 へええええ。

桑原社長 技術のヘンタイはね、やりきるんだよ。

驛場さん そっすね。やったことがないことをやるのが好きです。

桑原社長 やってる側は、ただやってるだけなんだけどね。前社長もそうだったけど、エンジニアってある意味ヘンタイ。今は、社内に何人かヘンタイがいるから、ちょっと安心はしてるんですけど、これからは若手のヘンタイを育てていかなきゃいけない。普通の会社に入ったらはじかれちゃうけど、東洋電装なら開花できるんだよ。こういったヘンタイを守ってあげないよ。

驛場さん 最近、若手が伸びてくるのが一番嬉しいんですね。

田中さん ほんまよ。若手がどんどん成長して自分から「やる」って言ってくれると嬉しくて、応援したくなる。

安原さん 50周年から51、52年と次へ進んでいくには、次の世代の成長が楽しみということなんです。自分たちがやるというよりは若手にやっていってほしいよ。

田中さん もちろん。次の世代がどんどん活躍してくれたら、それに越したことはないよ。そういうヘンタイが育つ土壌を作っていくのが今かな。



安原さん 僕の上には尊敬できるヘンタイ上司がいっぱいいるので、僕も頑張りたいと思います。今日はいろんな話が聞けてよかったです。ありがとうございました。

座談会に同席して



野北さん 安原さん 恵美さん 正木さん 藤村さん

昔の写真を見ながら懐かしそうに思い出話に弾む大御所たち。お酒が入って「酔っ払いの集い」のようになっていきました(笑)。酒が進むにつれ、先人たちが技術力で数々の仕事にチャレンジしてきたこと、「モノづくり」に一切妥協を許さない業務姿勢や深い情熱を熱く語りはじめ、東洋電装の原点を改めて知る良い機会になりました。

私たちもいつか笑って語れるよう、優秀なヘンタイを目指そうと心に誓ったのでした。

広島商工会議所より創業・開設永年継続企業表彰を受けました

12月25日、広島商工会議所より50周年の創業・開設永年継続企業表彰をいただきました。緑井本社2階に掲示していますのでご覧ください。



Media Coverage

女性活躍推進PJ(通称ジョカツ)が紹介されました

商工会議所所報 12月号に弊社の「女性活躍推進PJ」が掲載されました。女性活躍推進リーダーの平川さんを始め、女性主体のPJメンバーで不安と戸惑いの中、女性活躍推進アドバイザーの小笠原先生に助言をいただき、一人ひとりが目的意識を持ち、主体的に活動しています。



「経済レポート」に「まもる〜の」の新機能が紹介されました

2023年12月12日発行の「経済レポート」にて、「まもる〜の」の新機能追加に関する記事が掲載されました。新たに追加される機能は、被介護者のデータを人工知能(AI)が分析して介護者にテキストメッセージで知らせるといったものです。人出不足が深刻化する介護業界に向けた期待の新機能となっております。



New Face



かなや

叶谷さん TDHD

血液型

B型

趣味

韓国ドラマ鑑賞

メッセージ

今までの職業とまったく違うので不安もありますが、一生懸命頑張ります。



たばた

田端さん 制御盤・神戸Office

血液型

A型





Good & New

TD グループ社員の Good なことや New なことをご紹介します

IoT 西村さん

呉市在住です。最近家の近くにとっても評判のローストビーフのお店が出来たらしく、早速行って参りました。リーズナブルですごく美味しいのですが、とにかく量が多くて女性客のほとんどが持ち帰りされていました。次行ったときは違うメニューも試そうと思います！



TDHD 藤村さん

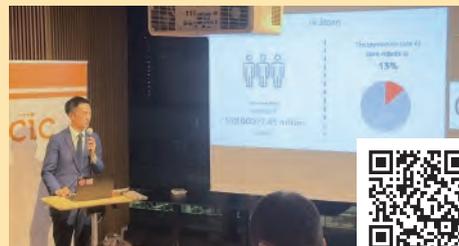
コロナが明けて、久しぶりに行った海外はずっと行ってみたいかったクロアチアの旧市街ドブロブニクです。魔女の宅急便のモデルになった都市ともいわれているドブロブニクはまさに海に浮かぶ街でした。海の幸と伝統のブレクというパンが美味しく、美しい景色にワインもビールもすすみました。写真はスルジ山からの景色です。



CHALLENGE

坂本さんが CIC ピッチイベントに参加！

11月24日に行われた創薬・医療分野のスタートアップ英語ピッチコンテスト「CIC ピッチイベント」に介護システム事業の坂本さんが参加されました。「海外展開」を視野に入れた初めてのチャレンジ！
TDグループのnote に紹介していますのでぜひご覧ください。



＼超難問／ 驛場さんクイズ

新卒採用での入社第1号だった驛場さんを、入社から現在まで順番に並べてね！
正解者には嬉しい特典！があるかもしれない？



ここから
クイズに
回答する



【応募方法】

- 氏名 ●掲載用ペンネーム ●住所 ●電話番号 ●投稿内容
- を記入して社員へ手渡し、またはEメール、郵便、FAXにてお送りください。
- ※掲載にあたり、文章に手を加えさせていただく場合がございます。
- ※二重投稿はご遠慮ください。
- ※掲載された方には薄謝をお送りしますので、住所・氏名・電話番号は正確にお書きください。
- ※ご記入いただいたあなたの個人情報は、この企画の目的以外には使用いたしません。

【Eメール】
info-hp@t-denso.com

【郵便】
〒731-0103
広島市安佐南区緑井4丁目22-25 広報担当

【FAX】
082-831-2588